

☆ 栄養学 (基礎)

⇒ 5大栄養素

グルコース
フラクトース
ガラクトース
オリゴ糖
多糖

○ 炭水化物 → 単糖類, 少糖類, 多糖類

(3)

○ タンパク質 → アミノ酸

↳ 動物の体を構成するアミノ酸 20種類
体内で合成できないアミノ酸 = 必須アミノ酸

特にネコ ⇒ タウリン, ア르기ニン
↑
失明や心臓症

○ 脂質 → (脂肪酸)
グリセリン



体内で合成できない脂肪酸 = 必須脂肪酸

⇒ リン酸 (犬猫), アラキドン酸 (猫)

※ 飽和脂肪酸, 不飽和脂肪酸

○ ビタミン

脂溶性ビタミン: D, A, K, E → 過剰症や欠乏症
= 2112131415161718192021222324252627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100

水溶性ビタミン: B群, C など
↳ B1, 4, 5, 6, 7, 9, 12, 15, 16, 17, 18, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

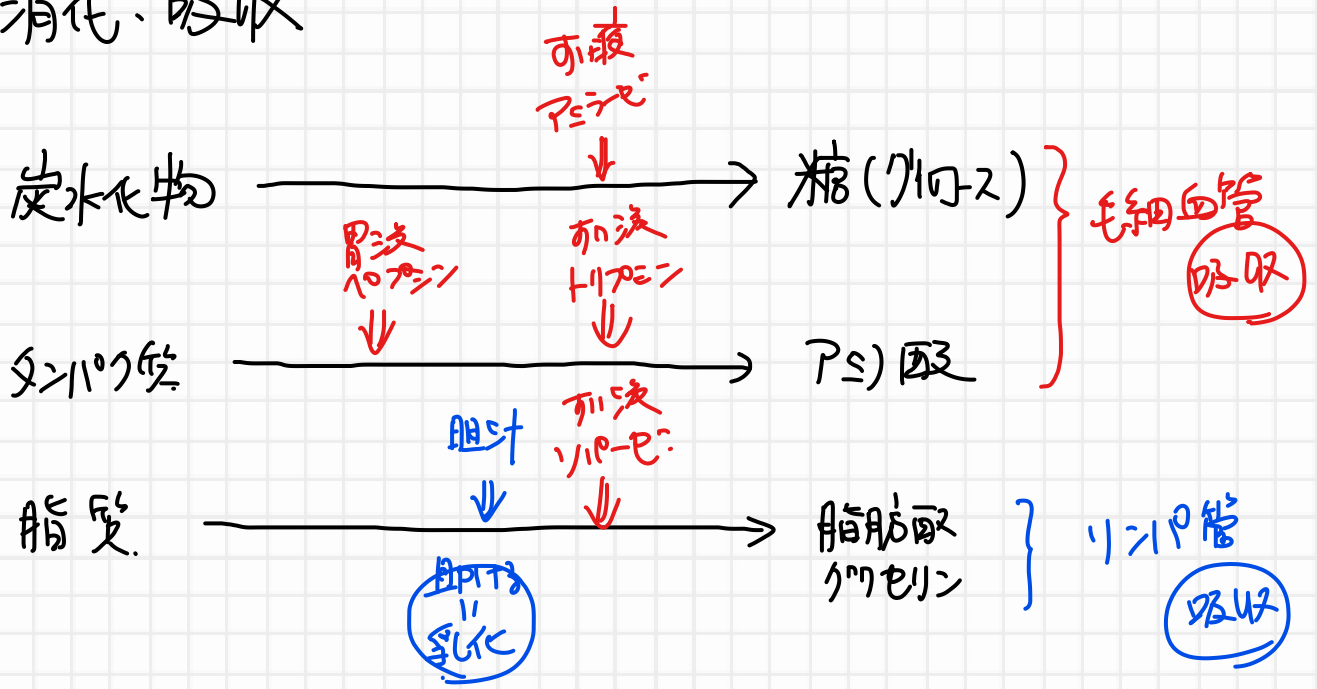
(例) ビタミンA 欠乏 ⇒ 夜盲症

○ ミネラル

↳ C, H, O, N 以外の元素 ⇒ ミネラル
↑ 炭素 ↑ 糖 ↑ 酸素 ↑ 窒素

(K, Na, Ca, P)
(Zn, Mg, ...)

消化・吸収



④ エネルギー 要求量

① 基礎エネルギー 要求量

→ 生きているだけで必要なエネルギー

② 安静時エネルギー 要求量 (RER)

→ 生きる + 仕事に関わるもの

体重的に求める

③ 維持エネルギー 要求量

→ 生きる + 仕事 + 生活

※ 繁殖のための強制運動は含まれない。

④ 日エネルギー 要求量 (DER)

→ 動物の ライフステージ を考慮に入れた = 解剖学的エネルギー 要求量

RER = 係数をかけて求める。

☆ ノート

① 総合栄養食

② 特別療養食

③ 間食

④ その他の目的食
↳ ぶ、いか、とか



疾患ごとの食事管理.

☆ ノート 安全食

表示義務項目

⇒ フード名称, 原材料名, 賞味期限
業者名と住所, 原産国名.

○ ストルバイト --- マグネシウム 制限
" に酸をもちたマグネシウム
" Mg

○ 心臓病 ナトリウム 制限
" Na

○ 腎臓病 低タンパク 食.

○ 急性肺炎 低脂肪 食.

○ 甲状腺機能亢進症 ヨウ素 制限食.

① 猫 に チロシン と セロトニン

② ヨウ素 → 甲状腺
↑

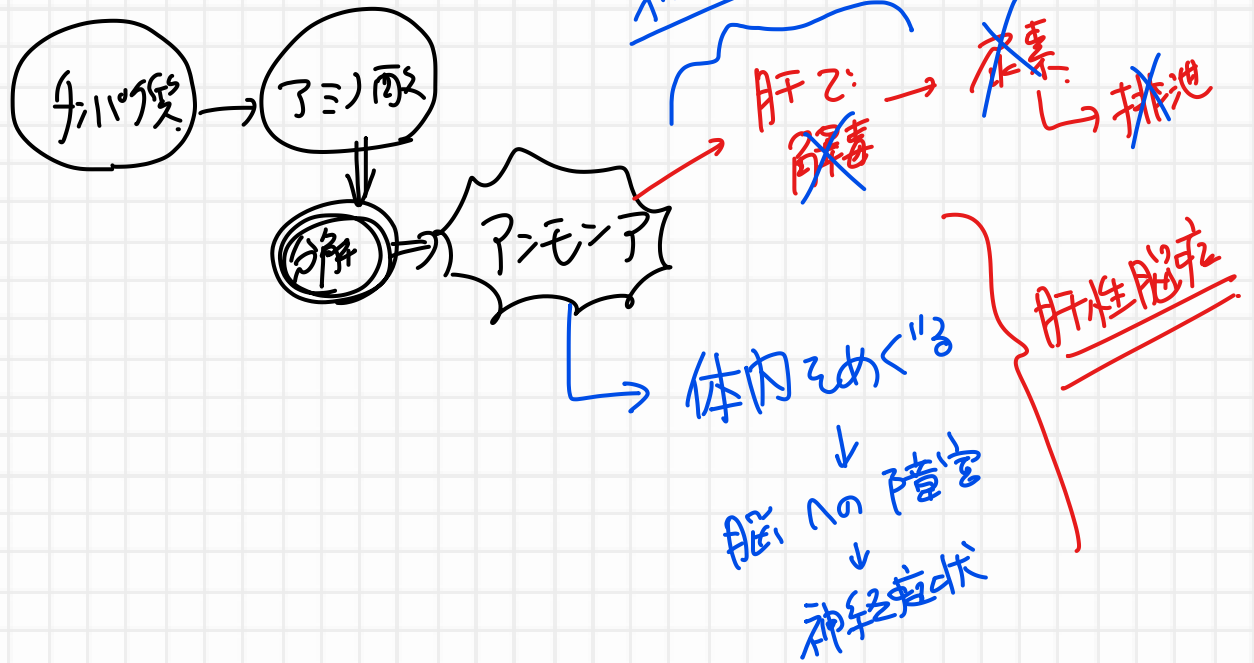
甲状腺の上皮

→ 単層立方上皮

※ (甲状腺)

= 移行上皮

○ 肝不全 低タンパク血症



★ 中毒物質 ← 重要 まとめ

⑩ 栄養療法.

- ・ 経口強制給餌
- ・ 経腸栄養法
↳ 経鼻食道カテーテル, 食道3つ分 →, 胃3つ分 →
- ・ 経静脈栄養法

↓
Vowk 2 反転.
流部
短期 - 中期

流部 ~ 半流部

